

「笑点 放送50周年特別記念展」、まもなく開催！

50年間レギュラー出演を続ける桂歌丸師匠、驚きの昔の写真も

2016年4月27日(水)～5月9日(月) 日本橋高島屋 8階ホール

主催：日本テレビ放送網株式会社 / 入場無料

日曜日の夕方お馴染みの演芸番組「笑点」。子どもの頃、ご家族と一緒に番組を見ていて、大人になった今では、ご自分のお子さんや親御さんと親子三代で見ているという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

1966年にスタートした「笑点」は、日本のテレビ史における“最長寿の演芸番組”として、長く視聴者の皆様にも愛され、2016年5月で50周年を迎えます。その笑点に、放送開始当時から唯一レギュラーとして出演をされているのが、桂歌丸師匠。2006年からは、大喜利の五代目司会者を務めています。

笑点に出演する一方で、1968年3月真打昇進。御年79歳、落語家人生65年を迎えた現在も、毎年春に10日間、夏に10日間、東京・国立演芸場で約50分間の長講1席、トリを務めるなど、精力的な活動を続けています。

■歌丸師匠、放送開始当時は29歳！

今や“国民のおじいちゃん的存在”として、人気の歌丸師匠も笑点放送開始当時の50年前は、29歳。笑点50年の歴史には、歌丸師匠の若かりし頃の写真も数多く残されています。

その一枚が右上の写真です。当時は落語ブーム、演芸ブームを背景に、映画や舞台俳優としてお芝居の仕事もこなされていたそうで、人気の高さが伺えます。

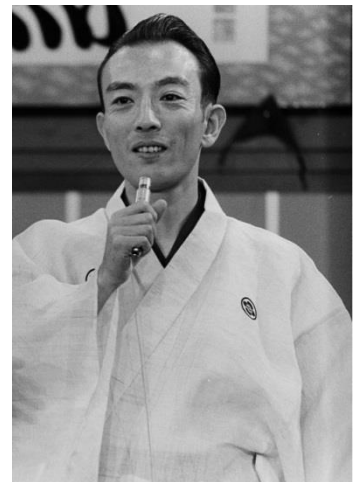
また、右下の写真は、歌丸師匠が座布団十枚の賞として、「写真集の出版権」を獲得したときのもの。写真を持ち込んだ出版社すべてに断られ、円楽師匠が自腹を切って限定10部のみ製作することに・・・。

笑点50周年の歴史を振り返り、その世界を身近に楽しんでいただける「笑点 放送50周年特別記念展」が4月27日(水)～5月9日(月)まで日本橋高島屋で開催されます。大喜利で使われる“あの”座布団に座れる体験コーナーや、オリジナル限定グッズ販売所「笑点 商店」併設、笑点50年の歴史をさまざまな視点で振り返る年史コーナーも展開。

笑点 放送50周年特別記念展 4月27日(水)～日本橋高島屋

<https://www.takashimaya.co.jp/store/special/event/shoten.html>

「日々勉強、努力を怠らないで落語の道に精進したいですね。でいよいよ死んで目をつぶるっていうときに楽になりたい。楽をするために毎日頑張ってるわけですから。」(桂歌丸師匠コメントより)



1972年8月27日 桂歌丸師匠
©NTV



2000年12月3日 賞品・女装写真集
©NTV

【掲載に関するお問い合わせ先】(掲載不可)

株式会社高島屋 広報代行：株式会社ブレインズ・カンパニー 担当：杉本・村山

TEL: 03-3568-3844 FAX: 03-3568-3838 E-mail: sugimoto@pjbco.jp